

令和5年度 第2回豊島区総合教育会議 次第

日 時： 令和6年1月23日（火） 午後1時00分

会 場： 豊島区役所本庁舎8F 教育委員会室

1. 開 会

2. 議 題

豊島区教育大綱の策定について

- ・「未来としまミーティング」の実施報告について
- ・新たな「豊島区教育大綱」策定に向けての検討イメージ（案）について
- ・教育施策に関する意識調査について
- ・教育大綱策定スケジュールについて

3. 閉 会

資料1 「未来としまミーティング」の実施報告について

資料2 新たな「豊島区教育大綱」策定に向けての検討イメージ（案）

資料3 教育施策に関する意識調査

「未来としまミーティング」の実施報告について

1、目的

豊島区が目指す「ひとが主役」のまちづくりをさらに推進するため、区民と区長が対話を行うことにより、区民の皆様に区政を身近に感じていただくとともに、区民視点での区政運営を実現することを目的に「未来としまミーティング」を実施する。

2、実施報告

「第1回未来としまミーティング」

- ・テーマ：これからの公立学校に期待すること
- ・日時：12月20日（水） 18時00分～19時30分
- ・会場：豊島区庁舎
- ・対象者：区立小・中学校に通う児童・生徒の保護者
- ・参加者数・・・27名
 - 男女別・・・男6名、女21名
 - 小中別・・・小学校20名、中学校7名

「第2回未来としまミーティング」

- ・テーマ：これからの公立学校に期待すること
- ・日時：1月15日（月） 18時00分～19時30分
- ・会場：長崎小学校体育館
- ・対象者：区立小・中学校に通う児童・生徒の保護者及び学校運営連絡協議会
- ・参加者数・・・12名
 - 男女別・・・男8名、女4名
 - 小中別・・・小学校10名、中学校2名

3、12月20日に頂いた主なご意見

1	<p>不登校問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子が不登校になったが、近くにあった教育センターのゆずの木教室に通うことができた。 ・西池中のにしまルームのような、子どもの居場所をほかの学校にも作ってほしい。 ・他の教室で授業を受けたりした場合に出席扱いにしてもらえるとよい。
2	<p>中学校への要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立中学校の魅力を増やしてほしい。公立中学校の教育の質を上げてほしい。 ・改修が終わっている学校と終わっていない学校の差が大きい。改修工事を進めてほしい。

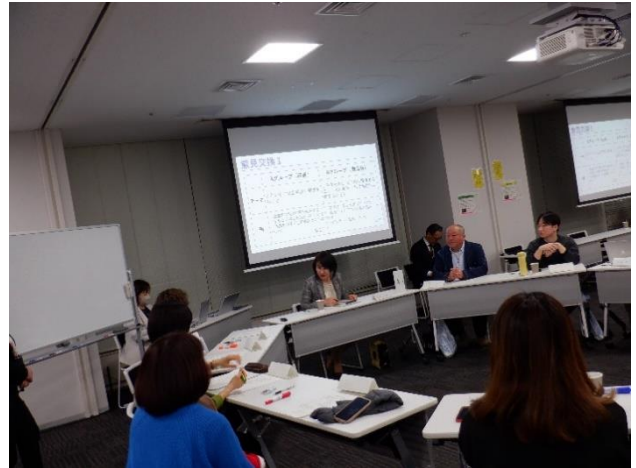
3	<p>放課後の居場所・遊び場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキップの帰り道について、16時ごろでも暗いので、子どもの見守りをしてほしい。狭いので、子どもが多い日は体育館を使うなどしてほしい。 ・学童はとても良い。職員は非常に情熱的でやる気を持って、すごくよくしてもらっている。 ・豊島区は遊ぶ場所が少ない。バスケットボールのリングがある公園を増やしてほしい。
4	<p>学校での教育・指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題は学校で終わらせてきてほしい。 ・学校からのお知らせなどをデータ化して送ってほしい。 ・地域の人に授業をやってもらうなど体験、経験する機会をもっと増やしてほしい。
5	<p>タブレットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの利用はかなり進んでいる。差が出るのは学校の先生のレベルによるため。 ・ICTに詳しくない保護者も多いが、進めば先生の負担も減る。 ・子どもたちの方がSDGsにすごい敏感なので、紙を無駄にしているという感覚が強い。
6	<p>各種教室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおぞら教室に行っているが、週1だと少ないので回数を増やしてほしい。 ・障害のある子どもでも輝ける場所があることを子どもに教えてほしい。 ・言葉と聞こえの教室に通っている。職員がとてもよく通ってよかったと思っている。
7	<p>学校・教職員の余裕のなさについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校がやりたいことができるように予算を付けてほしい。 ・子どもと保護者と先生みんなで成長していける環境づくりをしたい。 ・保護者としても学校の役に立ちたいと思う。学校とのマッチングシステムがあると良い。
8	<p>障害がある子どもへの理解について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子はダウン症だが通常学級に通っている。中学校でも通常学級に通えるようにしてほしい。 ・障害者の子と一緒にいることで、合理的配慮など健常者の子どもも成長する。また、インクルーシブ教育が進むと成績も上がる。 ・障害について、理解のない先生もいる。全員が笑っていられる区になってほしい。
9	<p>PTA 活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAを廃止してほしい。PTA 同士のトラブルがあったり PTA 役員決めでもめたりするため。 ・PTA が入学式等の手伝いもしているし、もっと学校の先生も PTA を頼っていいと思う。 ・学校の仕事は学校や行政がやるべきと思っている人も多いが P T A がないと困るのも事実。
10	<p>学区について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接校選択制度は入学時にしか使えず、引っ越してきた子も制度が利用できたり、他自治体のように特定地域を設けたりしたほうが良い。
11	<p>公共施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プールについて子ども同士体力アップができる子ども専用レーンを作ればよいと思う。 ・豊島区には大きなグラウンドや陸上競技場がない。マラソン大会など他区まで行く。 ・文化も大事だが体力も大事。

12 その他

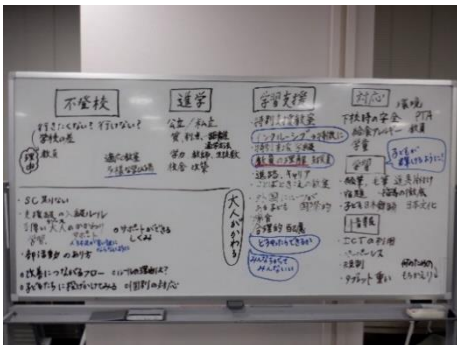
- ・ 地域の人意見も聞いてほしい
- ・ 子ども日本舞踊に参加しとても楽しんでた。日本文化に触れる機会をつくってほしい。
- ・ 豊島区の西口や北口は風俗が多く、子どもにあまり見せたくないのでは何とかしてほしい。
- ・ 誰もが主役という豊島区の国際的イメージがとても素晴らしい。
- ・ 豊島区が先頭を切って障害者に対しての取組を出してほしい。
- ・ 豊島区は外国人がたくさん住んでいるので差別がないようにしてほしい。
- ・ 学校ごとに特色があると思うので、子どもの興味によって学校を選べるとよい。ICTを学びたい、グローバルな保護者や子どもたちと接したい、受験勉強に特化したいとか。子どもたちの興味がどんどん世界や職種に向かっていくとよい。



開会のご挨拶



活発な意見交換の様子



沢山のご意見をいただきました



参加者で記念撮影



4、1月15日に頂いた主なご意見 ※保護者の他、地域の皆様も参加

1	<p>外国籍について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の子が増加している。言葉が通じないため、中学生にはもっと地域を知ってほしい。 ・外国籍の子どもたちともコミュニケーションをとりたい。高校生になっても心配している。
2	<p>地域の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者は、受験、学力等、子のことを心配するのは当たり前なので、地域が広い目で学校を支えていかないといけない。
3	<p>長期休暇について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みを短縮してほしい。スキップだけでは救いきれない。 ・共働きの親としてはメリットがある。 ・学校の先生のメリットとしても、土曜日授業分を、夏休みに行えば先生の負担も少なくなる
4	<p>不登校問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの不登校の問題は、親の影響が大きい。 ・不登校には早急な支援が必要。ある学校では、1年生約10%が不登校。1年生2学期に急増する。不登校生に関するケアは1次的なもの。学校に来ることがゴールになってはいないか。 ・不登校について、コロナを経て見解が変わってきた。学校に行かなくても単位が取れるとするのかなど検討しなくてはならない。
5	<p>教員の不祥事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の性癖の問題などチェックされているのか。 ・子どもたちは、先生の行動を覚えている。先生の資質チェックについて聞いてみたい。 ・国の性暴力防止のプログラムがあると報道されているので、今後の取り組みに期待したい。
6	<p>保護者、子どもとの関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い保護者が多くなっているので、地域との関りに苦勞が見えるが、子どもたちはのびのびと育っているのではないか。 ・是非、子どもたちには、自分たちの生き方を自分で見つけてほしい。 ・子どもたちは伸び伸びしているので、地域はゆるく見守っていきたい。 ・あまり規制をしなくて、子どもたちの成長に期待して、明るい方向で考えたい。
7	<p>教職員・授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校とは①学問、②社会ルール、③人間形成等、多岐に渡る。 ・大学を出てすぐに先生になるのは大変ではないのか。勉強は教えられるが、社会人として学んだうえで子どもたちに社会ルールや人間形成にかかわってほしい。 ・音楽の専門家の授業など、色々な人が関わって教えていくのが良いのではないか。 ・地域の伝統について理解して授業を進めてくれている。地域の文化を学んでほしい。
8	<p>子どもの自発的な行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISSの話し合いで、子どもたちが自らルールを決めて取り組んでいるのが素晴らしい。 ・コロナ禍を乗り越えて、子どもたちが成長し、大いに力を発揮している。
9	<p>タブレット・ICTについて</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書は優れたものだから、使いこなせるよう教員の努力が大変である。 ・ICTなのに教科書を全部持っていくのはどうか。 ・ICTリテラシーが、足りない先生がいる。 ・子どもが学校を休んだ時にオンライン授業を希望したのだが、先生ができなかった。
10	<p>成績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み明けに不登校が増加する原因の一つに、1学期の成績が影響していないか。 ・成績がブラックボックス化している。確認しても、「もう少し頑張っただけだから」と言われた。平等な評価を期待したい。
11	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を持つ親は、4月の入学時期にとっても悩んでいる。そのような、親に寄り添いたい。 ・子どもがとしま子ども会議に出席しているが、非常に良いと思う。 ・地域を調べるのは小学校までしかやらないが、中学校でも身近な探究学習をした方が良い。 ・小学生の荷物が重すぎる。低学年でも量が多い。 ・教職員とのミーティング機会もあると良いかもしれない。 ・若い先生に無記名でアンケートを取ってみると良い。



開会のご挨拶



活発な意見交換の様子①



活発な意見交換の様子②



参加者で記念撮影

4、今後のスケジュール（予定）

- ・日 時：1月28日（日） 13時30分～15時00分
- ・会 場：西巣鴨小学校体育館

令和6年度は、子ども・環境・福祉・安全安心等、区政全般をテーマとする開催及び大学等対象を特定した開催を予定

新たな「豊島区教育大綱」策定に向けての検討イメージ(案)

資料2

目指すまちの姿

未来を切り拓く 笑顔で元気な“としまっ子”が育つまち

～すべての子どもが、将来への希望をもって、健やかに成長し、未来を切り拓いていけるまちの実現～

目指す 子どもたちの姿

○自己肯定感をもって、自らの言葉で発信、チャレンジできる子ども

○体験を通じて心豊かな、多様性を受容できる子ども ○地域を愛し、人を大事にできる子ども ……

大事にしたいこと、検討のキーワード

(1) 幼児期からの切れ目のない教育による学びの支援、健やかに育つ環境

- 保・幼・小・中連携
- 生涯を通じて心豊かに健康で逞しく生きていくための基盤
- ICTを活用した、一人ひとりの力を伸ばす学び

(2) 多様性を認め、誰もが自己肯定感を感じられる育ち

- 子どもの声を受け止め、子どもの学ぶ意欲と権利を支える
- 個々の能力・個性の尊重
- 多様性を認め合う
- 困難な課題を抱える子どもを地域全体で支え、誰一人取り残さない

(3) 地域の魅力、芸術・文化に触れる体験を通じ、心豊かな子どもを育成

- 企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色ある育ちの場
- グローバル
- 様々な体験活動を通じた、人間関係を築く力、社会性の育成
- 地域との関わりを大事にする教育環境

(4) 安全・安心で、子どもたちの学習意欲を引き出す魅力ある学校

- 子どもがいきいき、わくわく通える学校を支える
- 学校図書館、司書の充実等により、主体的に学習できる環境
- 教員が生き生きと働ける環境づくり、教育活動の質の向上

豊島区の教育施策にかかる意識調査実施について

1 目的

昨今の社会状況等の変化や、不登校の増加、いじめ問題への対応、幼児教育の推進など、教育を取り巻く課題は山積している状況である。このようなことから、今後豊島区の教育施策を推進するにあたって、これまで以上に豊島区の園児、児童・生徒及びその保護者、教職員、地域の意識や実態を把握し、取り組むべき課題をより明確にしたうえで、迅速かつ計画的に取り組む必要が生じている。そのため、上記の方々を対象として意識調査を行うこととする。

なお、令和 6 年度中に策定予定の「教育大綱」、また「豊島区教育ビジョン」の改定にあたっては、この意識調査の分析結果を踏まえることとする。

2 アンケート実施期間（案）

実施期間（予定） 令和 6 年 2 月中旬～3 月上旬

3 調査対象者（案）

	対象者	対象者数
1	区立幼稚園、保育園（公設民営含む）、区内私立幼稚園・保育園（認可保育園）の保護者（5 歳児の保護者）	約 1,600 人
2	区立小学校 保護者（1 年生・5 年生の保護者）	約 3,300 人
3	区立中学校 保護者（1 年生の保護者）	約 1,100 人
4	区立小・中学校・幼稚園の学校運営連絡協議会、学校運営協議会委員（町会長、民生・児童委員、主任児童委員、保護司、青少年育成委員 等）	約 330 人
5	区立幼稚園・保育園（公設民営含む）、区立小・中学校、区内私立幼稚園・保育園の教員	約 3,000 人
6	区立小学校 4～6 年生の児童	約 4,700 人
7	区立中学校 1～2 年生の生徒	約 2,000 人

4 アンケート項目 再検討中

5 アンケート実施方法（案）

各対象者への依頼は紙で行い、回答方法はタブレット、パソコン、スマートフォン等 WEB による回答（グーグルフォーム活用）

6 今後のスケジュール（案）

- R6 年 2 月 9 日（金）・・・ 校長・園長会に依頼
- R6 年 2 月中旬～3 月上旬・・・・・・アンケート実施
- R6 年 3 月中旬～下旬・・・・アンケート結果集計速報